

収支バランスの状況

経常収支比率 (当初予算ベース)

100.4%(+0.3ポイント)

市税収入の増や市新改革プランに基づく着実な改革の実行などにより、プラン策定時における推計値(101.4)から1.0ポイント改善したものの、扶助費など社会保障関係費の増加などにより、昨年度から0.3ポイント上昇しました。

経常収支比率とは、家計に例えると「毎月の給料で、毎月の生活費が賄えているか?」を示しています(経常収支比率が100%を超えると、家計では赤字の状態です)。



基金残高 (普通会計ベース)

176億200万円(▲6億500万円、▲3.3%)

北大阪急行線延伸の整備費や市債償還に活用するため、「北大阪急行南北線延伸整備基金」へ積み立てた一方、公園のリニューアルや新病院予定地の整備などに基金を活用した結果、基金残高は約6億円減少しました。

基金とは、家計に例えると「貯金」です。



市債残高 (普通会計ベース)

615億6300万円(5億3900万円、+0.9%)

新駅や新病院予定地などの周辺整備に係る市債を発行した結果、残高は約5億円増加しました。一方、北大阪急行線延伸整備に係る市債の発行は、競艇事業会計繰入金を活用して“ゼロ”とするなど、市債の増加を財政運営に大きな影響を及ぼすものと考え、発行抑制に努めました。

市債とは、家計に例えると「ローン」です。



図政策推進室 ☎724・6718 図724・6971、財政経営室 ☎724・6708 図723・2096

予算全体の規模 () の数値は、前年度との比較を表しています。

一般会計の予算額

594億5000万円 (▲1億5000万円、▲0.3%)

社会保障関係費や市立病院への繰り出しなどが増加したものの、小中一貫校「彩都の丘学園」の増築完了などにより、予算額は減少しました。

全会計の予算額 (特別会計・企業会計を含む)

1690億9400万円 (▲89億1000万円、▲5.0%)

競艇事業会計において、SG競走(グランプリ)の非開催年に当たるため、予算規模が縮小しました。

予算編成概要

令和4年度当初予算は、引き続き市新改革プランのもと、「身を切る改革を始めとした市役所改革・運営形態の見直しの実行」「住民目線に寄り添ってすぐ動き、日本一親切な市役所」「みどり豊かで住み続けたい、子育て・教育日本一のまちづくり」の実現に向けた予算となっています。また、学校施設の脱炭素化に向けた太陽光発電設備設置・屋上防水改修や、市立病院の経営改革と一般会計からの繰り出しの見直しなどの取り組みを進めます。

今後は、愛すべきまち「箕面」の次世代への継承、持続可能な魅力あるまち「箕面」の実現をめざし、市新改革プランに基づいて大胆かつ着実に改革を進め、効率的で健全な財政運営を行ってまいります。

令和4(2022)年度

新年度の

箕面市の公所事情と 予算の使いみち

令和4(2022)年度予算は、2月18日から3月29日まで開かれた市議会定例会で審議の上、可決されました。

- ごみ収集、清掃工場の管理運営 など

14,317円



ごみ処理・リサイクル

- 公園施設の管理や修繕
- 道路の維持補修 など

23,322円



公園や道路などの維持管理

- 各種がん検診
- インフルエンザ、肺炎球菌など予防接種
- 子どもの医療費助成 など

32,097円



健康

- 高齢者医療、介護保険制度への助成
- 生涯学習施設の管理運営 など

33,354円



高齢者福祉・生涯学習

- 保育所施設の管理運営
- 民間保育園・認定こども園への運営補助 など

41,607円



保育所・認定こども園

- 小・中学校、幼稚園の管理運営
- 児童・生徒の放課後活動支援 など

34,593円



教育

一般会計予算の市民1人当たりの 主な使いみち

